

## ごあいさつ

2005年2月に京都議定書が批准され、国内の温暖化防止として省エネルギー法に新たに輸送部門のエネルギーの合理化、効率的な使用でCO<sub>2</sub>の削減が義務づけられ輸送事業者にとって温暖化抑制の新しい起点の年となりました。

弊社は、今までも輸送の効率化等でCO<sub>2</sub>の削減に努めて来ましたが、これからは更に荷主様と協力して輸送方法、運行の改善で今まで以上に努力を行い温暖化抑制に取り組む所存です。

弊社は、ノンアセットサードパーティロジスティクス(3PL)事業者として、NECグループを始め、一般のお客様や生産メーカーを中心に資材の調達から生産、販売そして回収にいたる全領域でロジスティクス事業を展開しています。

最近は、一般顧客の幅広い要求にも対応できるトータル・ロジスティクス・ソリューション・サービスを提供する事業者として国内、海外にも事業拡大を図っています。

環境管理活動は、企業理念に“環境との調和”を最高経営課題の一つとして、ロジスティクス・サービスを通して循環型社会の実現を掲げています。

環境活動は、本来の事業活動とリンクした活動テーマを設定し事業業績に直結することが環境経営であると考え環境と事業を融合した取組を推進しています。

これらのことから海外法人を含め2007年度まで全てがISO14001の認証登録を予定しています。

環境活動は営業、製品設計、生産物流、回収物流の活動範囲を対象に取組みを行っています。

設計の活動は、情報機器・通信機器をはじめとした製品包装、輸送方法のノウハウを活かし、最近のグリーン包装材料、製品設計・評価、また、お客様の包装設計支援等により環境配慮型製品を対象としています。これらは専門スタッフである包装技術センターが環境配慮型製品の開発を行っています。

例えばパソコン用の外装箱“のびのびBOX”、汎用品の“リターナルコンテナ”、“リターナルBOX”等を商品化しています。

生産物流の活動は、本来の事業活動にリンクした環境活動のテーマを設定し事業業績に貢献する活動を展開しています。

一例として包装材料の省資源・リサイクル化の推進です。製品に使用する包装箱、緩衝材の簡略化で使用材料の抑制等です。具体的には、お客様との打合せで通い箱、運用トレイの導入、包装箱の小型化、軽量化並びに共通化です。また、半導体の部品保管トレイは精巧な構造で比較的高価なことから国内、海外から回収したトレイを出来るだけリユースを高める活動を行っています。

もう一つの大きな取組みは温暖化抑制、エネルギー抑制である輸送トラックのCO<sub>2</sub>排出量の削減です。弊社は、輸配送の効率化を基本にしたCO<sub>2</sub>の削減に取り組んでおり全国輸配送ネットワークの整備・見直し、積載率の向上、ドライバーの適正運転並びにお客様とサプライチェーンマネジメント(SCM)の生産方式に基づき運送ルート、輸送頻度の設定等輸送の効率化を追求しています。

弊社は、トラック輸送を殆ど協力会社に委託していますが保有するトラックを昨年度、低排出車に切替10t車、4t車、3t車を最先端技術によるNOX削減や排気ガス循環やハイブリッドシステム車を導入しました。

これによりNOX等の大幅な削減と燃費の10%以上の改善が図られました。これらをベースに協力会社にも協力依頼を推進しています。

今までの活動の積上げでCO<sub>2</sub>排出量は、2000年度を基準に2005年度、26%の削減を実現しています。

今後も、省エネルギー法の義務である輸送事業者のエネルギー削減に積極的に取り組む考えです。

また、環境コンプライアンスを重要視しており、省エネルギー法や使用済み製品の回収の収集運搬事業者として廃棄物処理法等の管理強化として全拠点に環境順法担当者を任命し、毎年順法教育を行い順守状況を内部監査で確認し、環境コンプライアンスの維持を図っています。

最後に、弊社の環境管理活動をこのレポートで紹介させて頂くことでご理解を賜り循環社会の実現に向けてご協力いただきますようお願いいたします。



2006年6月  
代表取締役執行役員社長

永田 健二